

県教育委員会、県中学校教育研究会、開催市町村教育委員会

イ 研究主題

望ましい集団活動を通して、自主的、実践的な態度を育てる特別活動の指導はどうあればよいか。

ウ 県研究協議会

◦期日 平成元年 10月 18日(木)19日(金)

◦会場 桑折町立篠芳中学校

(2) 特別活動実践講座

ア 主 催

県教育委員会

イ 期日・会場

管 内	期 日	会場	管 内	期 日	会場
県 北	6月 29日(木)	各の教計 育画 事に 務よ る所	会 津	6月 20日(火)	各の教計 育画 事に 務よ る所
県 中	6月 22日(木)	南会津	6月 16日(金)	相 双	6月 9日(金)
	6月 23日(金)	いわき			6月 13日(火)
県 南	6月 20日(火)				

ウ 参加者数 小学校 552名 中学校 244名

6 生徒指導・進路指導

(1) 生徒指導

① 指定校による研究推進

ア 楢葉町立楢葉中学校（校長 橋本 孝雄）

◦指 定 文部省 中学校生徒指導総合推進校

昭和63年度～平成元年度

◦研究主題 「基本的生活態度を育て、自主性を高める生徒指導」

イ 会津若松市立一箕中学校（校長 須佐 久男）

◦指 定 文部省 中学校生徒指導総合推進校

平成元年度～平成2年度

◦研究主題 「自ら判断し、意欲的に実践する生徒の育成」

ウ 伊達郡保原地区

◦指 定 県教育委員会 生徒指導研究（地区）

昭和63年度～平成元年度

◦研究主題 「一人一人のやる気と実践力をのばす生徒指導」

② 生徒指導に関する研修会

ア カウンセリング研修会

◦期 日 各教育事務所ごとに9月中に2日実施

◦対 象 公立小・中学校の中堅教員 200名

③ 生徒指導推進会議

ア 文部省主催

◦期 日 平成元年 10月 30日(月)～10月 31日(火)

◦会 場 東京都 東條会館

◦参加者 県教育庁義務教育課指導主事 遠藤 久夫

同 吉田 政弘

白河市教育委員会学校教育課指導主事 栗林 正樹

会津若松市立一箕中学校長 須佐 久男

県 P T A 連合会副会長 櫻井 和朋

イ 県教育委員会主催（本庁）

◦期 日 平成元年 7月 13日(木)

◦会 場 県庁西庁舎

◦参加者

都市・町村教育長協議会代表、県小学校長会代表、県中学校長会代表、県教頭会代表、小・中学校生徒指導担当教員代表、県教育庁関係各課指導主事及び各教育事務所生徒指導担当指導主事、県教委嘱学校教育指導委員（生徒指導担当）、県 P T A 連合会代表及び小・中学校 P T A 会員代表、県関係機関代表（福島市少年センター、県精神保健センター、県中央児童相談所、県警本部少年課、福島家庭裁判所、青少年婦人課、児童家庭課、県教育センター教育相談部）、県教育庁及び教育事務所関係社会教育主事等 66 名。

ウ 県教育委員会主催（各教育事務所）

◦期 日 各教育事務所ごとに2日実施

◦参加者

市町村教委関係者、校長、教頭、教諭、養護教諭指導主事等 1,203 名

④ 生徒指導講座（文部省主催）

◦期 間 平成元年 7月 25日(火)～8月 12日(土)

◦会 場 国立教育会館筑波分館

◦参加者 浪江町立浪江中学校教諭 吉田 隆見

※ 従来の生徒指導主事講座（中央）とカウンセリング技術指導講座（中央）を精選・統合して実施。

⑤ 生徒指導資料

◦「生徒指導体制」№ 12

◦「教育相談」№ 13

◦「家庭・地域・関係機関との連携」№ 14

◦「登校拒否」№ 15

⑥ 家庭教育啓発資料

◦「豊かな心を育てるために」

• 小学校 1～3年用

• 同 4～6年用

• 中学校用

(2) 進路指導

① 指定校による研究推進

ア いわき市立平第二中学校（校長 磯上 英男）

◦指 定 県教育委員会 昭和63～平成元年度

◦研究主題 「望ましい進路の選択をめざす各学年に応じた指導はどうあればよいか」

—学級指導における自己理解の深化と目的意識の育成—

② 進路指導に関する研修会

ア 文部省主催

◦研修会名 平成元年度進路指導講座（中央講座）

◦期 日 平成元年 5月 29日(月)～6月 3日(土)

◦会 場 筑波大学

◦参 加 者 岩瀬郡長沼町立長沼中学校教諭 安田義雄

白河市立白河中央中学校教諭 木村敏夫

イ 県教育委員会主催